# 市長雑感

(114)

## 生きつづけてほしい平和の誓い

「真夏の太陽が照りつけた夕方だった。新型爆弾の投下に会い、死体がごろごろ転がるそばで、子供が遊んでいた。母の死を知らず、寝ている位に思っているらしい…」

「今晩も野宿で、土の上に寝転んだ。…」「負傷と日光の直射のため、私の子供は脳症を起こしていた。お母ちゃん、お母ちゃん、と手さぐりで妻を探す。お母ちゃん、目が見えんのよ。みんなでここにねんねしようよ、といって聞かすと、安心して寝たと思ったら、それが最後だった」

「子は親を、親は子を探し求めて、唯一人で淋しく死んだ数多い人のことを想えば、親が付いて死なせたことがせめてもの慰めだった」

原爆を体験し、恐怖の想い出を綴った新保さんという人の手記（朝日新聞社刊・原爆体験記から）である。

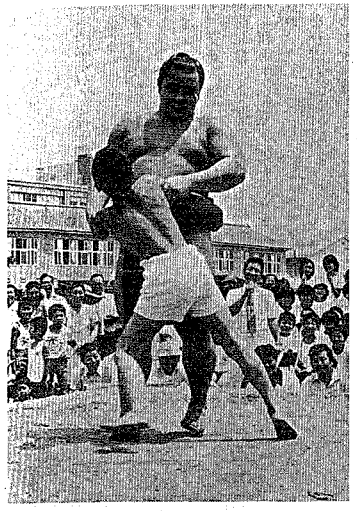
昭和二十年、B29によって広島・長崎に投下された原子爆弾は、一瞬にして何十万という尊い人命を奪い去った。日本人は、人類史上、かつてみたことのない原子爆弾の惨禍を、身をもって体験したのである。戦争は二度とくり返すまい、と涙で誓い合ったあの日から、もう数えて三十五年にもなるが、果たしてそのままの誓いが生きているだろうか。こうした願いをよそに、国際社会は二つの世界の激しい対立の中、核軍備を競い核拡散に拍車がかけられるなど、あまりにも厳しい現実のようである。身近にあっても、右傾化・軍備増強にも似た主張がばらまかれる政情に、錯覚であってほしい心境だ。私どもの生活は、ここ続いた目ざましい高度成長で、当時では想像もつかないほどに豊かに変わっている。すでに戦争を知らない世代が、日本人口の半数以上も占めている時代に入ったというし、あの反省はどこかへ押しやられて、天来の平和の訴えは届きかねると危惧するのは私だけではあるまい。

つい先般、婦連協と総連青のご尽力で、今年も原爆写真展が当市民会館で実現した。当時の被爆の実相、未だその後遺症で苦しんでいる事実、いようのない悲しみと戦争への怒りを、多くの方が感じとったに違いない。できたら、こうしたことで人々の心を呼びさまし、それを大きな輪にさせて、平和への希求がかなえられていくことを念じたいものだ。

それにしても初の共産圏でのオリンピック。ここでも東西の政治対立がはっきり現われて、淋しい幕あけとなった。「スポーツで結ぶ平和」の五輪の理想はどこにもない。不参加、ボイコット。なぜ、どうして、と単純な私だけに苛立たしい。平和という言葉、一方で社交辞令的な使いわけがされるようだと残念だ。

## 暑中お見舞い申し上げます

志田保



## 結小に土俵オープン

### 大寿山関も後輩の指導に一役

郷土出身の大寿山関が、さきごろの名古屋場所で9勝6敗と勝ち越しました。現在、東十両の筆頭だけに、来場所の入幕はまず間違いのないところ。十両入りしてから、これで3場所連続して勝ち越したことになり、また安定した取り口、柔軟な体から、専門家筋からもその将来性を高く買われています。

まさに〝大寿山ブーム〟にわく当市ですが、さきごろ大寿山関の母校・結小に土俵がつくられ、相撲熱も一段と高くなりそうです。この土俵をプレゼントしてくれたのは、荻川地区を中心とする「土俵をつくる会」のみなさん。

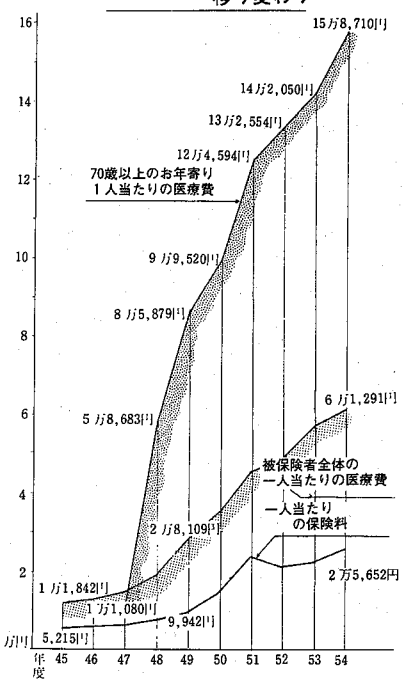
7月23日に行われた土俵開きには大寿山関もかけつけ、チビッ子たちも大喜びでした。付人を相手に模範相撲の後は、大寿山関も後輩の指導に一役。頼もしい先輩が、ひときわ大きく見えます。



# 増えてる老人医療費

## 上手な医療を心がけて

### 1人当たりの医療費の移り変わり




このほど、昭和五十四年度の国民健康保険の医療費がまとまりました。医療費は年ねん増え続けていますが、五十四年度の医療費総額は十一億七千十一万円。前年度にくらべて七%ほど増えました。

ところで左のグラフは、一人当たりの医療費の移り変わりをみたものです。角度の急な方が七十歳以上のお年寄り一人当たりの医療費、そしてゆるやかな方が全被保険者一人当たりの医療費の移り変わりを示しています。

このグラフでもわかるように、お年寄りの医療費は、もの凄い勢いで増えています。五十四年度は四十七年度にくらべて約十四倍という急増ぶり。この間、全被保険者一人当たりの医療費の伸びは約四倍にすぎず、全体の医療費に占めるお年寄りの医療費の割合も、とうとう三〇%を超えるようになりました。

七十歳以上のお年寄りのみなさんがお医者さんにかかる場合、病気が治るまで無料で診療が受けられます。でも、その医療費が増えてくると国保会計からの持ち出しも大きな額にのぼります。

お年寄りのみなさんの場合、自己負担分の三割についても無料になるわけですが、この三割分については、国が三分の二、県が六分の一、市が六分の一の割合で負担しています。そして残りの七割は、国保が負担することになっています。ですから、お年寄りのみなさんの医療費が増えれば増えるほど、国保の財政も苦しくなるということです。

このまま医療費が増え続けると、せっかくの相互扶助を目的にした国民健康保険制度も崩壊しかねません。また医療費の増加は保険料の値上げにつながり、結局、みなさんの負担がさらに増えることを意味しています。負担を少しでも少なくするために、一人ひとりがお医者さんを信頼し、不必要な薬をねだったりしてムダな医療費を使わないよう、お互いに気をつけましょう。

**国保医療費に占める老人医療費と被保険者に占める老人被保険者数（54年度）**

| | | |
|---|---|---|
| | 総額 | 11億7,011万円 |
| A | 老人医療費 3億5,170万円 30.06% | 老人分を除く医療費 8億1,841万円 69.94% |
| | 1人当たり 15万8,710円 | 1人当たり 4万8,498円 |
| | 被保険者数 | 1万9,091人 |
| B | 2,216人 11.61% | 老人を除く被保険者数 1万6,875人 88.39% |

└老人被保険者数

A表は、全医療費に占める老人医療費の金額、割合を示しており、B表は、全被保険者のうち、老人被保険者の人数、割合を示したものです。

全医療費に対して老人医療費の占める割合は30%なのに対し、保険者数では老人は全体の11%。老人医療費がいかに高額になっているかがわかります。

## 国保料取纒組合の新郷屋など優良団体を表彰

市では、国保料の完納や優良な納付成績をあげた五十七の団体に、さる七月十五日、表彰状と金一封を贈りました。

当日は表彰式に続いて取りまとめ組合代表者会議を開き、今年度の国保料の精算賦課の内容（広報七月十五日号に掲載）などについて意見交換をし、国保料の完納についての一層の協力をお願いしました。

表彰を受けた団体は次のとおりです。（カッコ内は完納年数　敬称略）

□二十年以上完納の組合
新郷屋(23)　市新(22)　塩谷・割町(21)　下新(21)

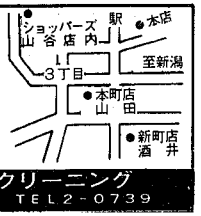
□十年以上完納の組合
岡田(16)　大秋(14)　野方(14)　飯柳(12)　三枚潟(12)　梅ノ木(11)　川根(11)　大関(11)　大蔵(10)

□一年以上完納の組合
本町三・一区(5)　山谷町一(5)　本町三・二区(4)　北潟(4)　程島(4)　柄目木(3)　古田(3)　天神(3)　下興野町(3)　中新田(3)　本町四・一区(2)　金沢町一(2)　草水町三(2)　中沢町(1)　田家三(1)　七日町(1)　川口(1)　荻島(1)　覚路津(1)　栗宮(1)

□その他の優良組合
結納税貯蓄組合、結取纒組合、浦興野納組、中野納組、中堰納組、八千代納組、荻島納組、川口納組、七日町納組、新町三、金沢町三、新金沢町、山谷町三、北上二、田家二、秋葉二、東金沢、大安寺、満願寺、金津、朝日、大鹿、蔵曽根、六郷

お買物、ご用命は市内で

最新鋭機パーマックドライ
朝9時30分までのお持込みは当日仕上がり！
各取つぎ店ご利用下さい。
持込　2～3割引
マルヤドライクリーニング
本町1　猫山医院前　TEL 2-0739




Toshiba 東芝
東芝ストア
より良いサービスと楽しい暮しに奉仕する店
(株) 八重電商事
本町二　TEL 4-3131(代)

お買物、ご用命は市内で

頬にほんのり微笑そえて
白根名産　甘さ抜群
日の出白桃
……おみやげにどうぞ…。
フレッシュでおいしい果物の店
やまいし
新津市本町3　TEL 3-0397

カット&パーマ
御婚礼着付一般
アザ、シミ、ソバカスをかくし、水にとても強い
カバーマーク化粧品は当店で！
渡辺美容院 20626
本町3丁目　能代川寄りウラ通り